

神奈川県ビリヤード協会 -議事録-

2023.11.15 12:00～ Zoom 会議

参加者：安藤・崎村・田口・石井・杉万



| 1

議論内容：

1. 第2回 わかばカップ の準備～当日作業 最終確認
2. 藤沢総合高校ビリヤード台設置プロジェクト
3. 神奈川県知事杯と KBA 杯の反省会

1. 第2回 わかばカップ の準備～当日作業 最終確認

定員64人に対してエントリー状況から32人くらいで大会が行われそうな見込み（石井）
想定より少ないエントリー状況について、偶数月に行われていた埼玉のひよこカップが同大会と被ってしまったためと推測。また、当日は東京でもCビギナー戦を行っている店舗がある（杉万）
C級が出場できるハウストーナメントが県内に他にもあるので参加者を募りにくい状況
32人くらい参加してもらえれば十分大会として成立する。1試合当たりの時間や初の試みのシューティング9についての評判、アベレージを確認し分析できればテストとしては十分（崎村）
ベスト8が決定した時点でミニゲームスタート（崎村、杉万）

再抽選はベスト16。対戦表の作成担当 => 石井健一

当日までの資料作成等の準備担当 => 杉万

当日の運営担当 => 崎村、スタッフ、杉万、永山

2. 藤沢総合高校ビリヤード台設置プロジェクト

ビリヤードの教育的な利点や生徒たちのメリットについて記載した提案書を学校の先生へ提出した。
具体的な話が進みだしたら、ビリヤード台のサイズや設置方法について提案していく。
先生からは数ある新しいスポーツの中の1つとしてビリヤードを提案してみると話を聞いている。
なお、いきなり授業の科目の中でビリヤードを行うという話はハードルが高いのでお試し期間として何か月かビリヤード台を設置し生徒の反応を確認したい。という話を頂いている。（石井）
=> 設置費用は KBA が負担する方向でなるべく置いてもらえるように協力することに決定。

3. 神奈川県知事杯と KBA 杯の反省会

今年の大会は1日開催とするか2日開催とするかで議論を重ねたが結果1日開催として実施した。
収支は良い結果を得られたが一方で終了時刻は24時までかかり大会としては健全とは言えない。

県庁に提出する申請書の作成について、大会フォーマットの確定や会場手配がギリギリなので申請が遅くなる。その結果、大会直前に賞状を取りに県庁へ出向くことになり他の業務と並行作業をすると事務局の負荷が高くなる。もっと余裕あるスケジュールで動いてほしい。

運営スタッフの募集を掛ける時間も直前となっている。運営スタッフのスケジュール調整をするためにも前もって募集を掛ける必要がある。

ショットクロックの決め事（秒数、カウントダウン、入り方）も大会数日前に決定した。

上記の話は余裕のあるスケジュールをもとに活動をしていたにも関わらず話を先延ばしにした結果なので次回はもう少し早く各位が動いてほしい。

当日作業では KPBA に負荷が集中し KBA はお手すきのスタッフが多々見られた。事前に計画をして作業の役割分担を行うことが次回は必要。（石井） => 承認

KBA と KPBA および KPBA の中でもコミュニケーションが不足していて大会案内を公開した後に問題が多々発生しているように見受けられる。今後は、KPBA の事務局とも連携し話の共有をしたほうが良い。

（杉万） => 承認

作成した資料を一部の人しか確認せずに公開してからミスが発覚。クロスチェックがちゃんと機能していない。全員が必ずチェックして公開前にミスを指摘してほしい（杉万） => 承認

今年と同じフォーマットで大会を行うのは厳しいとの意見が多く挙がっている。来年はもっと早く大会が終了するフォーマットにする。=> 承認

以下はその案（案は次回に持ち越し）

- ・ 2 日開催とする案
- ・ 1 日開催にてセット数を減らす案
- ・ 中箱の会場を使う案
- ・ 県知事杯と KBA 杯を分けて大会を実施する案
- ・ 定員を 80 人にするなどして 1 回転減らす案

Youtube 配信は自分たちでもできるのではないか？（崎村）

KBA 杯 B 級の大会に出場している人に対してのレスポンスが足りないのでは？ 終了時間が迫っていたので表彰式を短時間で行うなどの対応は如何なものかとおもう。最後の時間をもっと有意義にしてあげたい。

（県知事杯は参加人数が多いため労力が割かれるのは仕方のないことだが） 今後 B 級の大会も大きくしていく上では、もっと敬意を払い選手に向き合うべき。（崎村） => 承認